

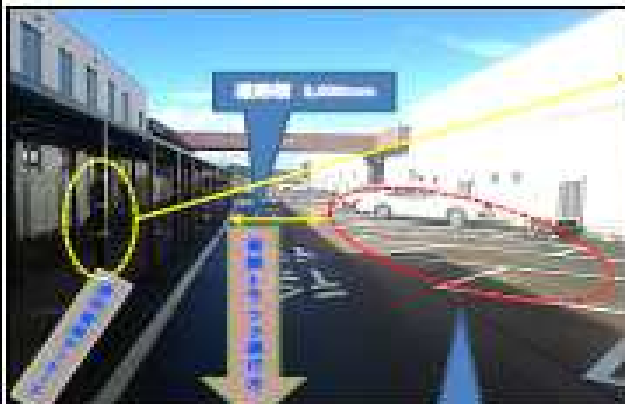
# バック時、支柱破損

## 事故事例KYT資料 Vol1 (7月)

2017年7月  
発行：コマツ物流株式会社  
地域物流部

### トラック後退時、支柱破損

1. 発生日時： 2013年 10月 9日(水) AM 5時 15分 天候：台風による大雨
2. 発生場所： 〇〇種機株式会社 伊賀事業所 (三重県伊賀市)
3. 事故当事者： 所属：〇〇運輸部 職種：トラックドライバー  
年齢：40歳 勤続年数：2年 経験年数：3年 (10年未満)  
免許取得後：7年経過 車両：10tワンボックス(車種：2500mm)  
社員区分：■正機社員 □期間社員 □派遣社員 □その他( )
4. 事故概要： 作業名：トラック後退時 作業・安全標準書の有無：□ 有 ■ 無  
10/9 AMS:07 〇〇種機株式会社 伊賀事業所に到着し、正門から入門した。  
10/9 AMS:15 正機道路に大型トラックが止まっていて後進出来ない為、後進を試みた。  
10/9 AMS:16 左側に駐車している乗用車に気を取られながら後進を開始した直後、気が配らなかつた  
ような気がしたので、トラックから降車して伊賀専用アーケードの支柱を確認した。  
支柱に傷があることを目視確認したが、自動車トラックと支柱の傷及び傷だった箇所が  
違つたと思え、一旦前進して振り返り続けて後退し、何回か繰り返した。  
10/9 AMS:10 納品作業が完了し、周囲も明るくなったので現場に戻り再度確認をしたところ  
歩行者用アーケードの支柱に穴及びすり傷、自動車トラック右後方部に接触痕(破損)が  
あることを確認した。
5. 状況写真 (写真がない場合はポンチ絵でも可)



自動車トラックのバック時に、乗用車に気を取られながら後進を開始した。

支柱に傷があることを目視確認したが、自動車トラックと支柱の傷及び傷だった箇所が違つたと思え、一旦前進して振り返り続けて後退し、何回か繰り返した。

### 事故の原因はどこにありますか？

- KYT実施協力会社様回答より抜粋 (7社)
- ① 周辺に駐車車両があり、構内進路も狭いのに降車確認を怠った
  - ② 正機道路にトラックが停車していた事が疑問ですが、停車トラックに気を取られ右側の支柱の確認がおろそかになった
  - ③ 左右後方の確認不足でバックした為
  - ④ 早朝悪天候で視界不良なのに、後方確認を怠った
  - ⑤ 後退時の速度は左右の確認が出来る速度でなかったのでは？
  - ⑥ 本来後退で走行する経路ではない

### どのような対策が考えられますか？

- KYT実施協力会社様回答より抜粋 (7社)
- ① 周辺に車両が駐車していたり狭い場所ではバックする時は降車して安全を確認する
  - ② 周囲の確認の徹底
  - ③ 特に後退時は死角が多い為、左右の障害物や歩行者に十分注意する事
  - ④ 狭い場所等では一度降車して周囲の安全を確認してから後進する
  - ⑤ 降車員がいる場合は、打合せ後降車してもらう事
  - ⑥ 悪天候でも面倒がらずに降車して目視確認する
  - ⑦ 停車しているトラックを移動してもらう
  - ⑧ 構内ルールを守った走行をする

### コマツ物流より

10月9日の三重県の日の出は6時位です。事故が起きた時間は5時15分頃ですので暗く、その日は台風による大雨で視界はかなり悪かったと思われます。

普段後退して進むべき所にトラックが止まっていて後進を試みた。このようにいつもと違う場合での事故は多いです。要注意といわれる3H作業(変化、初めて、久しぶり)です。

暗く大雨ならなおさら面倒がらずに降車して目視確認が必要ではと思います。過去にも早朝や夕暮れの見づらい時間帯での接触事故は多く発生しています。

前方で停車していたのは納品のトラックです。もし納品が終わり前方トラックが後退するまで待機していれば後退せず事故は防げたかもしれません。

構内でのバック走行はまず降車して目視確認をおねがいし、この事故のケースのようにいつもと違う走行をする場合は要注意であり、何が新たに危険なのか危険予知を行う事が重要だと思います。